

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)	-	-	-	-
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・前年と比較して来客数が回復しているため売上も上向いている。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・6月からの販売方式の変更により、6月は販売量が前年比で75%に落ち込んだが、8月は90%に回復している。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・暑い日が続き、外を歩く人が少ない。来客数が伸びない原因でもあると考えられる。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	販売量の動き	・客室稼働率において、3か月前と同様に、前年同月実績を下回る状況が続いている。沖縄県自体の入域観光客数は毎月前年を上回る好調な状況にもかかわらず、競合他社が多いためなのか、毎月前年割れの状況が続いている。
		観光型ホテル（代表取締役）	来客数の動き	・宿泊者数について、県全体としては微増であるが、それ以上にホテル、宿泊施設が増えていて競争が激しく、売上アップの努力をしても前年とほぼ同じである。他のホテルでは、前年よりも減少しているところも増えている。
		通信会社（サービス担当）	単価の動き	・飽和状態が続くものの新規や解約などで多少の動きはあり、各社の競争が激化している。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・国内客は増えているが、韓国人客が激減している。若干、台湾人や香港人の客も落ちている。
		住宅販売会社（代表取締役）	販売量の動き	・観光業に関連したレンタカー会社や宿泊施設などの民間工事や公共工事の受注が順調である。
		商店街（代表者）	競争相手の様子	・近年、商店街では物販業が衰退してきて、新規に入ってくるのは飲食店が多いため、競合店が多くなり、単価も落ちてきている状態である。
		一般小売店〔鞆・袋物〕（経営者）	来客数の動き	・観光客が増えていると言われているが、インバウンドの購入客は減っているようであり、買上量が減っている。
		百貨店（店舗企画）	販売量の動き	・中国人観光客の購買が落ち込み、免税売上に影響が出ている。
		スーパー（販売企画）	販売量の動き	・前年より旧盆の時期が10日間早かったため、8月としては旧盆後の需要落ち込み期間が長くなる。
		家電量販店（総務担当）	来客数の動き	・インバウンド売上の減少が顕在化してきている。為替レートの課題も大きい。
		旅行代理店（マネージャー）	お客様の様子	・大手航空会社などの海外パッケージ商品ではなく、LCC航空券とネットでの宿泊予約が20～30代に増えている。荷物さえ少なくてできれば片道1万円以下で行ける国が増えているのも要因である。消費者には良いことだが、旅行会社にとってはかなり厳しい状況である。
	住宅販売会社（営業担当）	来客数の動き	・住宅展示場への来場組数が前月比9%減と3か月連続で減少、前年同月比では8%減と来場組数が減少している。	
	x	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・旧盆と月遅れのお盆が重なって地元客も観光客も来店客数が落ちた。インバウンドは相変わらず目抜き通りにあふれているが、来店する外国人の中では、韓国人がかなり減っている。
企業 動向 関連 (沖縄)	-	-	-	-
		食料品製造業（総務）	受注量や販売量の動き	・実際の売上、販売量を前年並みに近づけるのがやっとで景気が上向いている感覚はない。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共工事向けは前年比減、民間向けは前年比増、全体では横ばいである。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新築住宅の契約が完全に止まっている。
		輸送業（経営企画室）	取引先の様子	・県内様々な企業の現況をうかがう限り、忙しさ、イコール景気の良さを維持しているような状況である。
		x	-	-
雇用 関連	-	-	-	-
		-	-	-
		-	-	-

(沖縄)	人材派遣会社 (総務担当)	求職者数の動き	・求職者の減少が継続的に続いている。
	職業安定所(職員)	それ以外	・特に景気の変動を感じられるようなことが身の回りに起こっておらず、変わらない。
	学校[専門学校] (就職担当)	採用者数の動き	・企業の採用活動において、前期決戦を制した企業は採用活動を終了しつつある。採用人数未達の企業が二次募集を開始する。また、後期は地元企業の採用活動が活発になるとみられる。
	学校[大学] (就職支援担当)	求人数の動き	・学生の夏季休暇の影響か、求人数が減少し、就職活動も減退している。
	x	求人情報誌製作 会社(編集室)	求人数の動き